

自治体の課題、現状

これまで静岡市では、教育委員会が主導・検討し、2026年夏から休日、2030年から平日も実施することを目標に実証事業や検討を進めてきました。

しかし、R5.9～R6.7での「実証事業Ⅰ」において、平日と休日を分けた方法ではいくつかの課題があることが明らかになり、当初の実証計画を改めR6.11～R7.2を「実証事業Ⅱ」とし、平日を含む活動を学校部活動とは異なる地域のクラブ活動として実施しました。

また、静岡市ではR6.11に市長部局と教育委員会が共同で「しずおか地域クラブ活動推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、部活動から地域クラブ活動への転換を、平日と休日ともに2027年9月に行うとしました。既存の仕組みに捉われず、学校施設などの「市の施設」を最大限活用し、民間・団体等の地域社会の力との共働のもと地域クラブ活動を実施したいと考えています。

地域スポーツクラブ活動等の概要

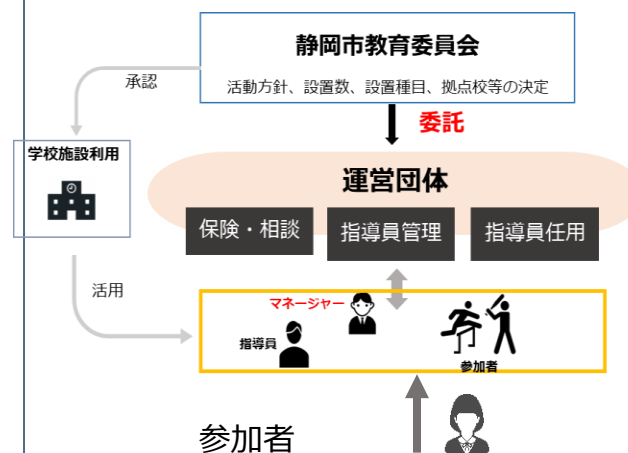
中学校数	43 校	全生徒数	14,398 人
域内の部活動数	398 部	実施した地域クラブ数	15 クラブ
全体の指導者数	30 人	全体の運営スタッフ数	5 人
主な運営団体	NPO法人 民間事業者		
主な種目	バドミントン、アルティメット、サッカー、バスケットボール		
平均的な活動回数	8 回/月	年間平均参加生徒実数	3 年：10 人/クラブ 2 年：10 人/クラブ 1 年：10 人/クラブ
参加会費	保険代のみ	主な活動場所	未広中学校他

実証から見てきたこと

- ✓ 市、学校、運営団体の3者が事前に協議し、活動の趣旨や学校と団体の役割の共通理解を図ったことで円滑な運営ができた。
- ✓ 地域に根ざした民間事業者と連携し、地域の特性や教育力、人材等の資源を活かした活動を創出。
- ✓ 会場校以外からの生徒、新規種目の参加者は最初は少数であった。今後、参加募集の周知、団体と参加者をつなぐマッチングについて、方策を考える必要がある。
- ✓ 平日は塾と重なる子もいる。子どもが参加しやすいように指導者の確保ができれば放課後からそのまま参加できる時間帯の工夫も必要。

運営体制図等

●クラブ体制



●実証事業概要

	平日	休日
従来	部活	シズカット

実証Ⅰ (R5.8～R6.7)
「休日のみ地域クラブ」

	平日	休日
R9		シズカット
17:00		

実証Ⅱ (R6.11～R7.2)
「部活とは異なるクラブ」